

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5年 5月 30日

公表: 令和 5年 6月 7日

事業所名 セカンドホームしん

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|--------------------------------|------------------------------------------------------------|----|-----|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 1 | | 1~2Fを使用。2Fでは個別での運動や課題にも取り組んでいる。 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 1 | | 子供の特性に応じて、人員増での対応を行っている。 | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 1 | | 危険を想定し、段差等の減少・階段の手摺の設置を行っている。 | |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 1 | | 職員会議等で、常に新しい目標を立てながら振り返りも行っている。 | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 1 | | 保護者からの意見等を踏まえ、改善につなげている。 | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 1 | | 全体で評価し、月毎の活動に反映したものを保護者に伝えるようにしている。 | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | 1 | | |
| 適切な支援の提供 | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 1 | | 研修を毎月行い、職員の資質向上に努めている。 | |
| | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 1 | | 事前の聞き取りを行った上で支援計画を作成し、出来上がった計画書に沿って説明をし同意を得ている。 | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 1 | | | 新しいものに変更するため作成中 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 1 | | 職員全体で月毎の話し合いを行い、それに沿った立案をしている。 | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 1 | | 子供の特性に合ったものや、新しい物を考えながら毎月変化のある活動にしている。 | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 1 | | 休日・長期休暇に関しては、日頃出来ない事も取り入れ支援を行っている。平日も限られた時間の中で特性に応じた課題の提供ができるよう設定に努めている。 | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 1 | | 子供の特性を考慮しながら個別と集団を考え、作成を行っている。 | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 1 | | 毎月の職員間のミーティングと毎週の職員会議で、確認を行っている。 | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 1 | | その日にあった事や連絡事項、当日に管理者に伝え朝のミーティングで共有を行っている。 | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 1 | | 毎日、各児童の業務日誌への記載等を行っている。 | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 1 | | 毎週、職員会議の中でモニタリングやカンファレンスを行っている。 | |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている | 1 | | | | |

| | | | | | |
|--------------|----|-----------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 1 | 児発管や看護師など、状況を踏まえた人員での参画を行っている。 | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 1 | 毎月保護者と情報共有をし、行事予定が下校時刻の確認を行っている。また、必要に応じ学校と連携を取り合い対応を行っている。 | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 1 | 保護者からの聞き取りm医療機関の把握と連携を行っている。 | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 1 | 必要に応じて話し合いや見学等、連携をしている。 | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 1 | 保護者の要望により、学校等に向けた報告書を作成し、お渡ししている。 | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 1 | 必要に応じて話し合いや見学等、連携をしている。 | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 1 | 交流を行い、児童の共有を図っている。 | |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 1 | 交流を行い、児童の共有を図っている。 | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 1 | 送迎時に子供の様子や状況について伝え、家庭での様子も伺っている。 | |
| 保護者への説明責任等 | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 1 | 必要に応じ事業所での相談やフィードバックの際にアドバイス等、支援を行っている。 | |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 1 | 契約時に説明、また送迎時にも伝えるなど丁寧に説明している。 | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 1 | 相談があった時は職員間での話し合いと、対応について話し合ったものを電話もしくは対面で行っている。 | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 1 | 該当なし | |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 1 | 相談等については職員会議で話し合い、伝えたり面談日を設けている。 | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 1 | 毎月、1ヶ月分の行事予定を決め、事前の配布を行っている。 | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 1 | 個人情報の持ち出し禁止、連絡帳等の再度の確認を行っている。 | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 1 | 子供の特性を見ながら、視覚的な配慮や手話での伝達を行っている。 | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 1 | 近隣の方にお手伝いをして頂き、ハロウィン行事への参加や、地域情報・お買い物体験を行っている。 | |

| | | | | | |
|---------|----|--------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------|---------------------|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 1 | | 職員への研修と対策への準備をしている。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 1 | 様々な災害を想定し、短期間での実施を行っている。 | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 1 | 様々な災害を想定し、短期間での実施を行っている。 | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 1 | 保護者に学校・家庭における詳細な聞き取りと、職員会議での話し合いで改善に向けた対応や解決案を元に計画に盛り込んでいる。 | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 1 | 職員間での共有とアレルギーの詳細を確認できるよう一覧表を作成している。 | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 1 | 職員間での共有とアレルギーの詳細を確認できるよう一覧表を作成している。 | |